

「GOLF LOVERS」を主宰する伊藤プロは
“あの”某自動車メーカー関連企業で取締役を務め、
55歳でゴルフのためにリタイア!
最長343ヤードを飛ばしたその体験と同時に
確率したメソッドとは?



新連載

元JPDAドラコンプロ

伊藤宣久の
ゴルフ

教えてのりさん!

これ一択!



伊藤宣久 (いとうのりひさ)
ゴルフライフ エンバジェリスト
GOLF LOVERS 主宰
岐阜県中津川市出身 1968年生まれ
あるとあらゆるクラブ、シャフトを試打・探求
して得た経験と知識をあなたにお届け!
ちょっと変わった目線で今のゴルフのいろ
いろ・ウンチクを綴っていきます。

今月の一択

「UT」本当に助けて
くれていますか?

執筆中

note「55歳からの挑戦!」
～ゴルフ300ヤード達成までの道のり～



●問い合わせ／メールでお気軽にどうぞ
contact@tsukuriya-production.com



恵みの雨が芝を青々と育てていますが、ゴルファーにとっては厄介な「深いラフ」の季節がやってきました。そんな時、つい頼りたくなるのがユーティリティ(UT)。「アイアンがしんどいから」と、楽にボールが上がる軽量モデルをバッグに忍ばせている方も多いでしょう。しかし、その「お助けクラブ」が、実はミスを量産する時限爆弾になっているかもしれない、と言ったら驚かれるでしょうか。

今月の「一択」は、UTの「重量」です。

6月号で、14本のクラブ重量は階段を上げるように整えるべきだとお伝えしました。ところが、市販のUTの多くは、ウッドに近い軽量カーボンシャフトが標準装備されています。これをそのまま使うと、1Wとアイアンの間の「重量フロー」がガタガタに崩れてしまうのです。特に、アイアンにスチールシャフトを使っている方が、50g～60g台の軽量UTを振る

と、軽すぎて手先で操作してしまい、深いラフでは芝の抵抗に負けてしまいます。ミスが出る原因は、あなたの技術不足ではなく、単にクラブが「軽すぎて頼りない」だけなのです。もし、あなたがこの夏、ラフから確実にグリーンを捉えたいなら、やるべきことは「一択」。UTのシャフトを、アイアンと同じ重量帯、あるいは少し軽い程度の「しっかりした重さ」にリシャフトすることです。

まとめの一択

「楽に振れる」と「結果が出る」は別物。14本すべての振り心地を一致させてこそ、UTは真の「相棒」になります。スイングを疑う前に、まずはそのUTの「体重」を測ってみてください。



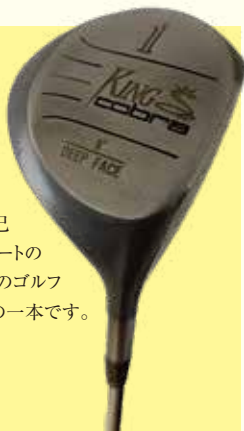
撮影協力／アコーディア・ガーデン名古屋

伊藤プロの「名器探訪」

cobra「KING COBRA メタルウッド」

90年代、パーシモンからメタルへの過渡期にゴルフ界を震撼させたのが「キングコブラ メタルウッド」。「ホワイト・シャーク」ことグレッグ・ノーマンが全盛期に愛用し、1997年のマスターズでは弱冠21歳のタイガー・ウッズが歴史的初優勝を飾った際に使用していた、まさに「怪物の遺伝子」を持つ伝説のドライバーです。ミスを勝手に消してくれる現代の大型チタンとは違い、芯を外せば手が痺れるじゃじゃ

馬ですが、激芯を喰った瞬間のホップするような強烈な弾道と金属音はまさに快感。道具に操られるのではなく、己のパワーでねじ伏せるアスリートの意地が詰まった、今なお多くのゴルファーの記憶に刻まれる至高の一本です。



元ドラコンプロから飛距離アップの秘訣を聞きながらラウンドしませんか?

8月19日(水)、9月16日(水)
会場／ディリー瑞浪カントリー倶楽部
限定／3名(先着順受付)
会費／20,000円(プレー代、昼食+1D込み)
※上記会費以外にゴルフ場にてゴルフ場利用税、ゴルフ振興基金等が別途精算となります。(クレジットカードのみ)

【お申し込み】
ゴルフマスターズエントリーデスク
TEL052-735-5990

レッスン
お待ちしております!

